

幼児向け



『いってらっしゃーい』
りとうようい／作・絵
金の星社 ¥1,400 (税別)

家族のために、命がけで魚を取ってくるペンギンのお父さんが主人公。魚の群れを発見し、どっさり獲物を得て帰ろうとすると、何匹ものアホウドリに魚を横取りされ、その後、アザランにも襲われ…。海の中には危険がいっぱい！



『えんどうまめばあさんと
そらまめじいさんのいそがしい毎日』
松岡享子／原案・文 降矢なな／文・絵
福音館書店 ¥1,200 (税別)

小さな家に暮らし、朝から晩までまめめめしく働くえんどうまめばあさんと、そらまめじいさんの忙しく、楽しい一日が描かれている。「『暮らす』ということが大事」と言う作者の思いが詰まった一冊。



『くみたて』
田中達也／作
福音館書店 ¥1,400 (税別)

洗濯ばさみがブランコに変身するなど、様々な日用品や食べ物を、建物や遊具、電車などに見立てるミニチュア写真の絵本。細かい部分まで作りこまれており、組み立てたものが何に変身するのか、想像力をかきたてられる。



『くらべるえほん たべもの』
ちかつたけお／作・絵
Gakken ¥1,300 (税別)

左右のページに並んでいる二つのよく似た食べ物。でもよく観察してみると、何か違っている。どこが違うか、自由に考え答えてみよう。食べ物への興味を広げ、考える力を育む、違い探しの絵本。



『こどもに聞かせる一日一話』
福音館書店「母の友」編集部／編
福音館書店 ¥1,500 (税別)

忙しくて子どもとの時間が取れない日常でも、一話ずつ声で読み聞かせ、親子一緒に物語を楽しんでほしい、と願いを込めて書かれた30編の短い童話を収録。「ぐりとぐら」「だるまちゃん」「ぐるんば」など、人気絵本の主人公も登場。



『ともだち』
くすのきしげのり／作 よしむらめく／絵
小学館 ¥1,500 (税別)

みずきは隣に越して来た男の子に勇気を出して挨拶したが、男の子は両手の人差し指を曲げるばかり。実は男の子は手話で挨拶をしており…。違いを知り、手話を学ぶことで、互いに理解し合える事を気づかせてくれる一冊。



『ばあ！』
さこももみ／作 アーキ・ヴォイス／監修
マイクロマガジン社 ¥1,400 (税別)

「びーか・ぶー！」「おった・かっくん！」「きーけ・ぶー！」両手で顔を隠し、パッと顔を見せる遊びで唱えるこれらの言葉の意味は何だろう？答えは3つとも全て同じ。世界の「いない・いない・ばあ！」に出会える絵本。



『ぶるばびぶーん』
ささきしゅん／作
福音館書店 ¥1,000 (税別)

「ぶるん ぶるん ぶるばびぶーん」。ユニークなエンジン音を響かせて走るのは、1台の小さな赤い車。「よっこらぶーん」は坂道を上る時の音。車の動きとテンポ良く重なり、声に出して読みたくなる変幻自在なエンジン音が魅力の一冊。

その他のおすすめの本

『いっこでもにくまん』
ふじもとのりこ／作 世界文化ワンダークリエイト ¥1,200 (税別)

『いろってなあに？』
アリス&マーティン・プロベンセン／さく・え こみやゆう／やく KTC中央出版 ¥1,800 (税別)

『こうもり』
アヤ井アキコ／作 福井大／監修 偕成社 ¥1,500 (税別)

『ごめんねゆきのバス』
むらかみさおり／作 文溪堂 ¥1,400 (税別)

『これ、なーんだ？』
momo編集部／文 今井しのぶ／写真 マイルスタッフ ¥1,500 (税別)

『こんとごん』
織田道代／文 早川純子／絵 福音館書店 ¥900 (税別)

『ずぼっじー』
高橋祐次／作 講談社 ¥1,200 (税別)

『ちいさいひなた』
山田美津子／作・絵 佼成出版社 ¥1,400 (税別)

『どんぐりころころむし』
澤口たまみ／文 たしろちさと／絵 福音館書店 ¥900 (税別)

『なにになれちゃう？』
チョーヒカル／著 白泉社 ¥1,200 (税別)

『2ひきのカエル』
クリス・ウォーメル／作・絵 はたこうしろう／訳 徳間書店 ¥1,800 (税別)

『ピンポン！つぎとまります』
五味ヒロミ／文 さとうめぐみ／絵 交通新聞社 ¥1,200 (税別)